



—令和6年度収蔵品展—
まちと
わたしたちの
A Story of the City and Us
物語
【協力】長谷川未来 株式会社ヒーローズ
北九州市漫画ミュージアム

2025

2/1 (土)



4/6 (日)

北九州市平和のまちミュージアム 企画展示室・多目的ホール

開館時間：9時30分～18時(入館は17時30分まで)

休館日：月曜日(祝日の場合は火曜日)※2月26日(水)は館内整理のため休館



まちとわたしたちの物語

A Story of the City and Us

見どころ①

北九州市門司区を舞台に“小さな戦争”の記憶を描いた漫画「生きとし生ける」。本作品の場面と関連する当館所蔵資料を展示し、戦前から戦後の北九州の情景を呼び起こします。また、北九州市漫画ミュージアム協力のもと、作者である長谷川未来先生へのインタビューや取材時に撮影した写真のパネルなども展示します。



(作品あらすじ)
残してくれたもの、伝えていくこと—。祖父の遺した手帳に導かれ、北九州・門司港を訪れた小説家の古賀。地下アイドルの望と出会い、門司でつながった人たちの想いを手繰り寄せようとする自分があることに気がついた。「この小説を書きたい」門司の過去と今をつなぐ物語を……。

◀「生きとし生ける」1、2巻書影 ©Mirai Hasegawa/HERO'S

(作者プロフィール)

長谷川未来(はせがわ・みらい) 東京生まれ。

2021年4月『潮をはやみ』(KADOKAWA『青騎士』1号)で商業誌デビュー。

2023年7月からWEBコミックサイト『コミプレ』(株式会社ヒーローズ)にて「生きとし生ける」を連載中。

北九州市では、戦後50年を迎えた平成7(1995)年度から、戦時資料の収集を行ってきました。手紙、日記、写真、生活道具など、これまでに寄贈を受けた資料は約5,000点に及びます。本企画展では、今年度新たに市民から寄贈されたものを中心に、北九州ゆかりの資料を展示します。

見どころ②

戦争とともに生きた子どもたちは、どのような生活をしていたのでしょうか。当時の子どもたちが書いた絵や遊んでいた玩具などを通して、親子で一緒に戦争や平和について考えてみてください。

(陸戦将棋)

敵の防御を破り、その軍旗を奪う2人用ボードゲーム。軍人の駒ほか化学兵器や防御施設の駒を用いて遊びます。このような戦争や軍隊を題材としたゲームが、戦時期には多く制作されました。



(体力章検定規格手榴弾)

昭和14(1939)年から、国民の体力向上を図るため、15~25歳の男子を対象として「体力章検定」が課されました。検定項目は、100m走、2000m走、走り幅跳び、懸垂、重量運搬50m、手榴弾投の6種目でした。



見どころ③

企画展を担当した学芸員が、展示資料やその背景について解説を行います。入館料のみで参加可能です。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

ギャラリートーク

日時：2月15日(土)、3月16日(日) 14:00~14:30

場所：平和のまちミュージアム 企画展示室



あなたの家にも眠っていませんか？

平和のまちミュージアムでは、戦前から戦後の暮らしなどを物語る資料の寄贈を、常時受け付けています。資料寄贈の取扱基準については、HPをご覧ください。電話にてお問合せください。※お受け取りできない品もあります。また、資料の取扱いは、北九州市に一任していただきます。

北九州市平和のまちミュージアム Kitakyushu City Museum of Peace

住所 / 〒803-0813 小倉北区内4番10号
TEL / 093-592-9300
開館時間 / 9時30分~18時(入館は17時30分まで)
休館日 / 月曜日(祝日の場合は火曜日)
※2月26日(水)は館内整理のため休館
—入館料—

区分	料金区分		
	一般	学生・高齢	小学生
個人	200円	100円	50円
団体(30名以上)	160円	80円	40円

団体は、有料のお客さま30名以上です。



北九州市平和のまちミュージアム

ホームページはこちらから▶

北九州市平和のまちミュージアム 公式アカウント
LINE 公式アカウント

北九州市平和のまちミュージアム 公式アカウント
エックス公式アカウント

LINEのお友だち登録はこちらから▶

エックスはこちらから▶